



「岩手県環境保健研究センター」では、県民のみなさんの健康といわての環境を守るため、健康・環境に関する科学的・技術的拠点として、次のような業務に取り組んでいます。

- ① 県民のみなさんの健康や環境に被害のおそれがある場合の対応
- ② 健康と環境を守るための試験検査・監視測定
- ③ 行政の課題に対応した調査研究
- ④ 技術支援・情報発信・研修指導

広報誌「環保研聞録 ~I-RIEP Journal~」では「環保研(かんぼけん)センター」の取組や健康・環境に関する情報を定期的にお届けしています。

◆ この夏はヒトスジシマカにご用心！

夏も本番、夕方になるとどこからかプ〜ンとやってくる蚊。そろそろ蚊取り線香つけようか。夏の風物誌ですね。ところが、最近では、たかが「蚊」というわけにはいかなくなっているようです。

昨年、東京都の代々木公園を中心に、約70年ぶりに「デング熱」が流行したことはまだ耳に新しいと思います。この「デング熱」を媒介するのが「ヒトスジシマカ」。東南アジア原産で、日本では盛岡市がその生息北限とされていますので、安心してはいられません。

写真は、盛岡市内で採取したヒトスジシマカです。背に一本の白いスジが特徴的です。

「ヒトスジシマカ」は、普段は茂みの中などに潜み、人が通るのをひたすら待っています。人が4~5m ぐらいに近づくと吸血にやってきます。いわゆる「待ち伏せ型」で、日中でも活発に吸血行動を行います。

岩手県では、2000年頃初めて一関市で生息が確認され、2010年には盛岡市で定着が確認されています。現在、岩手県では一関市から盛岡市までの北上川沿いの地域、また、大槌町までの沿岸南部地域で生息が確認されていますが、そのほかの地域でも油断できません。

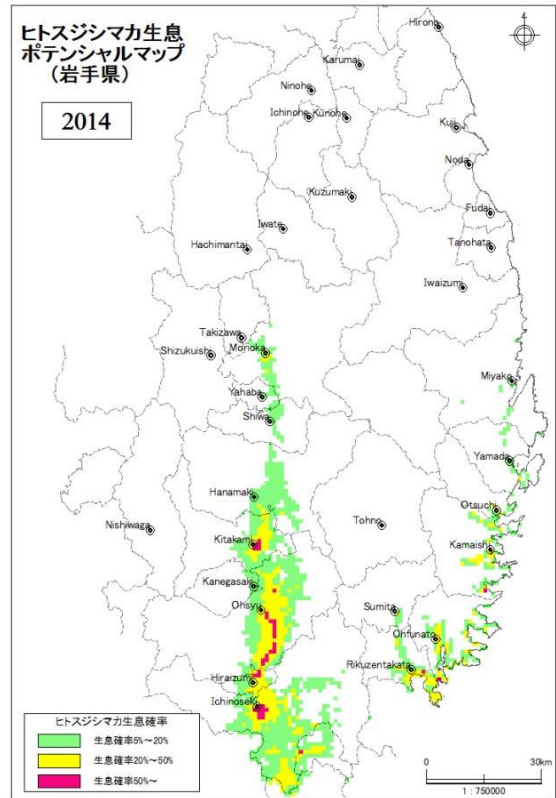


(次ページへ)

図は、当センター地球科学部が 2009 年から実施している生息分布調査結果と気象データ等を解析して作成した「ヒトスジシマカ生息ポテンシャルマップ」です。「緑」は生息確率 5～20%、「黄」は 20～50%、「赤」は 50%以上を表します。

ヒトスジシマカの繁殖には小さな水たまりが必要です。放置された古タイヤ、植木鉢やプランターの水受け皿、庭先に置き忘れたバケツや壺、プラスチック容器などに溜まった水に、蚊は卵を産み付けます。卵から孵った幼虫（ボウフラ）は最短 10 日程度で羽化して成虫になります。ヒトスジシマカを防ぐためには、身近にある小さな水たまりを無くすことが大事です。これからやってくるかもしれない「デング熱」の流行を未然に防ぐため、家庭や地域をあげて小さな水たまりを無くし、「ヒトスジシマカ」の発生を防ぎましょう。

(担当：地球科学部)



◆ 平成 27 年度野生山菜の放射性物質濃度検査結果が出ました

衛生科学部では平成 25 年度から流通品となる野生山菜、野生きのこについて放射性物質濃度検査を行っています。食品衛生法に基づいてゲルマニウム半導体検出器により検査を実施し、結果が基準値（100Bq/kg）を超過した場合は、国から出荷制限の指示もしくは県から出荷及び採取の自粛要請が出ます。放射性物質の検査方法は「環保研聞録 第 2 号」に詳しく書かれていますのでぜひご覧ください（[当センターの HP からダウンロードできます](#)）。この検査は岩手県では環境保健研究センターと農業研究センターで実施しています。

春は山菜の季節です。当センターでは出荷制限されていない市町村で採取されたコゴミとワラビについて、今年度 51 件の放射性物質濃度検査を行いました。放射性セシウムは 3 件から検出されましたが、基準値を超過したものはありませんでした。放射性セシウムの検出件数は昨年度 9 件、一昨年度 11 件であり、減少傾向にあります。

平成 27 年 7 月現在出荷制限をされているものは右表のとおりです。出荷制限の多くは震災直後の平成 23～24 年に検出されたもので、当センターの検出率は年々下がっていますが、新たに今年出荷制限となった山菜もあります（農業研究センターで検出）。食の安全安心を確保するために、県と市町村は連携して今後も流通品に関する放射性物質濃度検査を継続的に行っていかなければなりません。

(担当：衛生科学部)

国から出荷制限指示	
コシアブラ	盛岡市、花巻市、北上市、遠野市、一関市、釜石市、奥州市、住田町
ゼンマイ	一関市、奥州市、住田町
野生ワラビ	一関市、陸前高田市、奥州市、平泉町、釜石市
野生セリ	一関市、奥州市
タケノコ	一関市、陸前高田市、奥州市
県から出荷及び採取の自粛要請	
野生コゴミ	花巻市、陸前高田市
野生タラノメ	一関市
野生ミズ	一関市
野生フキ	奥州市
野生サンショウ	奥州市

◆ MERS 関係機関研修会を開催しました

韓国において多数の患者が発生したことを踏まえ、平成 27 年 6 月 25 日、当センターにおいて「中東呼吸器症候群（MERS）の国内発生を想定した関係機関研修会」を、県医療政策室及びいわて感染制御支援チーム（ICAT）との三者共催で開催しました。

県内の感染症指定医療機関の医師や看護師、保健所職員など約 80 名が出席し、MERS 感染制御の要点や行政の対応手順、検体採取に係るポイント、診察時の院内感染防止対策などについて研修しました。

当センターからは、国立感染症研究所と共に担当するウイルス検査（PCR 検査）の実施にあたり、検査結果の信頼性を確保するため、病院での検体（咽頭ぬぐい液、喀痰など）の採取や、当所への運搬に係る留意点等について説明を行いました。また、いわて感染制御支援チーム（ICAT）からは、MERS 感染の疑いがある患者が来院した場面を想定して、診察方法や個人防護服の着脱方法等について具体例を示しながら実演し、診察や検査検体を採取する際の感染リスクの正しい理解や、医療従事者への感染拡大を防ぐための正しい方法等について研修しました。この様子はビデオ撮影し、DVD として県内の関係者に配布することにより、当日の参加者だけでなく、関係者間で広く情報共有することとしています。



岩手医科大学 櫻井滋教授
(総論及び感染制御の要点について)



当センター 高橋雅輝上席専門研究員
(検体採取、運搬及び検査について)



ICAT メンバーによる実演（医師、看護師、患者役）
(飛沫を浴びるリスク低減のため聴診器を横から当てる、など)



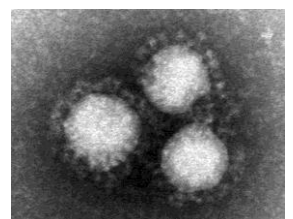
活発な意見交換が行われました

<MERS とは>

中東呼吸器症候群(MERS:Middle East Respiratory Syndrome)の略称であり、2012年に初めて確認されたウイルス性の感染症です。原因となるウイルスはMERSコロナウイルスと呼ばれています。

主として中東地域で患者が報告されていましたが、韓国での流行も起きています。

主な症状は、発熱、せき、息切れなどです。MERSに感染しても、症状が現れない人や、軽症の人もありますが、特に高齢の方や糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などの基礎疾患のある人で重症化する傾向があります。(出典:厚生労働省 HP)



MERS コロナウイルスの電子顕微鏡写真
(出典:国立感染症研究所 HP)

(担当:保健科学部)

◆ 新品種のユリが開花しました



当センターの小山田智彰上席専門研究員が 2011 年より品種改良に取り組んでおりました新品種のユリが 7 月 16 日に初開花しました。

この新品種は日本固有で全国的に希少なヤマユリを交配親に用いており、きれいなピンク色のグラデーションと花びらの縁全体にフリルがあります。また、ユリはもともと横もしくは下を向いて咲くのですが、この花は天を向いて咲くことも特徴です。

そして、この品種改良には「種子カット法」と呼ばれる技術が使われています。種子カット法とは文字通り種子の一部を切除して培養する方法であり、ヤマユリは発芽まで通常 2 年かかるのですが、これをわずか 6 日に短縮する画期的な



技術です。種子カット法については「環境研聞録 創刊号」に詳しく書かれていますのでぜひご覧ください ([当センターの HP からダウンロードできます](#))。

希少種の保護と最先端の技術の組み合わせにより生まれたこの花は、今後の岩手県の育種の大きな力となることが期待されます。

(担当：地球科学部)

写真上：新品種のユリ

写真下：交配親となったヤマユリ

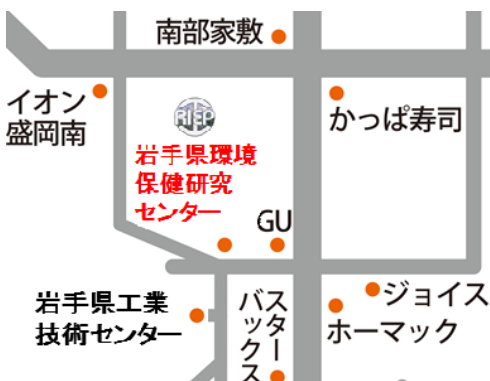
◆ 一般公開を開催します！

今年の一般公開は 10 月 10 日（土）に開催します。センターの業務紹介の他、環境や健康、衛生に関わる展示を多数用意してお待ちしております。ぜひご来場ください！

(開催時間や展示内容等の詳細は決まりしだい当センターHPでお知らせします。)

【編集後記】

夏ですね。草木が青々と茂り、動物たちが元気に動き回る季節となりました。先日、環境保健研究センター裏庭に珍しい来客(?)がありました。カルガモです。翌日にはいなくなっていたので、つかの間の休息だったのでしょうか。このセンター周辺もだいが開発が進み、住宅や商業施設が増えてきましたが、人と自然がうまく交差する街になっていけばいいですね。当センターもその役割の一翼を担えるよう、研究・調査に努めていきます。(AS)



《編集・発行》 岩手県環境保健研究センター 企画情報部

盛岡市北飯岡一丁目 11-16



TEL 019-656-5666 FAX 019-656-5667

E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/kanhoken/>

